学校番号	315

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	映像で学ぶ社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	な　し						
副教材等	担当者作成のプリントなど						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな映像作品の背景となっている時代や、その作中に込められたメッセージを読み解くことで、現代社会を多面的・多角的な視点から見つめる力を養ってください。
・レポートやプレゼンテーションを通して、調べたことをまとめ、自分の言葉で表現する力を身につけてください。

2　学習の到達目標

【知識・技能】：歴史や社会を描いた映像作品を視聴することを通じて、今まで学んだ基本的事象を認識し、生活の中で活用する技能を身に着けることができる。
【思考・判断・表現】：歴史や社会を描いた映像作品を視聴することを通じて、現代の社会や未来の社会における課題や問題につながる部分を把握し、自らの意見を持つことができる。
【主艇的に学びに向かう態度】：歴史や社会を描いた映像作品を視聴することを通じて、それぞれの時代やテーマの中で、登場人物が社会と関わり真剣に生きてきた姿を通して、自分の生き方を見つめ、社会への関心を持つことができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	映像作品の鑑賞を通じて、これまで学んできた歴史や現代社会の諸問題について理解を深めるとともに、作品に関わる様々な事象をまとめる技能を身につけている。	映像作品から得られた、作品がテーマとしている事象の意味や意義を考察したり、その作品が投げかけている問題の解決に向けて構想したりする力を身につけ、それらを効果的に説明できる。	映像作品の鑑賞を通じて、自らの生き方を見つめ、社会への関心を持つことで、よりよい社会の実現を視野に主体的に解決しようとする態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	世界史と映画	「サウンド・オブ・ミュージック」 「英国王のスピーチ」 「インビクタス」 「レ・ミゼラブル」	a: 世界史と関連する映像教材の鑑賞を通して、その時代の歴史的背景に関する知識を深める。 b: 世界史と関連する映像教材の鑑賞からその時代の歴史的背景を読み取り、それぞれの歴史的事象が今自分たちの生きる時代にどのようにつながっているのか考察し、判断している。また、その結果を適切な言葉で表現することができる。 c: 世界史と関連する映像教材の鑑賞からその時代の歴史的背景を読み取り、それぞれの歴史的事象が今自分たちの生きる時代にどのようにつながっているのか、主体的に考察しようとしている。	小テスト レポート	ワークシート レポート プレゼンテーション	ワークシート 振り返りシート
2学期	日本史と映画	「もののけ姫」 「あん」 「この世界の片隅に」 「アルキメデスの大戦」	a: 日本史と関連する映像教材の鑑賞を通して、その時代の歴史的背景に関する知識を深める。 b: 日本史と関連する映像教材の鑑賞からその時代の歴史的背景を読み取り、それぞれの歴史的事象が今自分たちの生きる時代にどのようにつながっているのか考察し、判断している。また、その結果を適切な言葉で表現することができる。 c: 日本史と関連する映像教材の鑑賞からその時代の歴史的背景を読み取り、それぞれの歴史的事象が今自分たちの生きる時代にどのようにつながっているのか、主体的に考察しようとしている。	小テスト レポート	ワークシート プレゼンテーション レポート	ワークシート 振り返りシート

2学期	現代の諸課題と映画	「ズートピア」 「予告犯」	a:現代社会が抱える諸課題を描いた映像教材の鑑賞を通して、今自分たちの生きる時代がどのような課題を抱えているのか理解する。 b:現代社会が抱える諸課題を描いた映像教材から、今自分たちの生きる時代がどのような課題を抱えているのかを読み取る。また、その課題に対する調査・分析をおこない、調べたうえで考察し判断したことを適切な言葉で表現することができる。 c: 現代社会が抱える諸課題を描いた映像教材の鑑賞を通して、今自分たちの生きる時代がどのような課題を抱えているのか主体的に読み取ろうとしている。また、他者との意見交換を通して、自己の考えを主体的に深めようとしている。	小テスト レポート	ワークシート プレゼンテーション レポート	ワークシート 振り返りシート
3学期	現代の諸課題と映画	「スーパー30 アーナンド先生の教室」				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度